

情報提供日	平成30年(2018年)3月14日(水)
問い合わせ先	広島市植物公園 管理課 田川、久保、泉川 TEL 082-922-3600

## 「草木染の世界」展 開催中

やさしい色に染め上がった上品な色合い、展示室に一步踏み入ると、合成(化学)染料とは全くちがう、植物独特の心落ち着く天然染料を利用した「染め物」が温かく迎えてくれます。

草木染講習会では、3種類の草木を染料に絹の布を染めます。どんな色に染まるのか?は、当日のお楽しみです。

### 「草木染の世界」展(通算38回目)

期間: 3月10日(土)~4月5日(木)

場所: 植物公園展示資料館1階展示室

出品: 広島草木染の会

- 内容: ①広島草木染の会の会員が制作したタペストリー  
②植物の花や葉、実、根、樹皮などを利用して染めたスカーフと、植物、染色方法の紹介  
③手作り織り機で機織り体験できるコーナー(合計約40点)



さまざまな植物で染めた作品



草木染のスカーフと植物、染色方法の解説



会員らによる藍染の作品

### 「草木染の世界」展ギャラリートーク

日時: 3月18日(日)午前11時~正午

内容: 「草木染の世界」展の展示解説を行います。

解説: 比治山大学短期大学部教授(広島草木染の会代表)寺田勝彦氏

### 草木染講習会

日時: 3月18日(日)午後1時半~3時半

場所: 植物公園展示資料館2階講堂

内容: 3種類の草木を使った染色方法について講義と実習を行います。今回はヤシャブシ(実)、ピワ(葉)、フクシア(花)を染めます。(当日自由参加)

解説: 比治山大学短期大学部教授(広島草木染の会代表)寺田勝彦氏



過去の草木染講習会の様子

### 草木染について

植物を利用して染色する方法は、古くから日本に存在しましたが、「草木染」という言葉は、昭和になってから新しく生まれた呼び名です。古くは植物の葉や樹皮・根などから出る液を布にこすりつけると言ったごく単純なものでしたが、いつしか鉄やミョウバンの水溶液に浸けると色が発色・定着(媒染)することが見出され、今日のような草木染になったのです。「草木染」には、大量生産できない、濃い色が出づらい、色にばらつきができるなどの欠点もありますが、天然の美しさには、補ってあまりあるものがあります。

開園時間 午前9時から午後4時半まで(ただし、入園は午後4時まで)  
入園料 大人510円、65歳以上・高校生170円、中学生以下無料  
休園日 毎週金曜日